

看護職員の負担の軽減及び処遇の取り組みについて

令和8年6月1日
医療法人社団三誠会 北斗わかば病院

1. 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に資する体制

(1) 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に関する責任者 看護部長：村木ゆかり

(2) 看護職員の勤務状況の管理

勤務時間：①週40時間以内

②連続勤務5日以内

③勤務状況の把握：有休取得率 時間外業務の把握

夜勤勤務：①夜勤時間16時間未満

②夜勤明けの翌日は原則休み

③仮眠2時間を含む休憩時間の確保

その他：早番・遅番の配置

(3) 多職種からなる役割分担推進のための委員会及び会議

衛生委員会 月1回開催

(4) 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に資する計画

年1回の見直し（評価）と職員への周知（院内掲示）

(5) 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に関する取り組みの公開

衛生委員会議事録配布 院内掲示 ホームページ上公開

2. 看護職員の負担軽減及び処遇改善に係る取り組み（計画書）

看護職員の負担軽減及び処遇改善に係る計画書

医療法人社団三誠会 北斗わかば病院

(1) 勤務環境・処遇の改善

評価: 達成度は%表記

項目		2026 年度取り組み内容	評価
継続	夏冬兼用掛布団の導入	効果の検証	
継続	熱中症予防	入浴介助着の変更	
継続	おむつ交換カート交換	利便性と操作性の検証	
継続	腰痛予防対策	① ケアワーカーを中心に腰に負担がかかる業務の洗い出し ② 介護課長/主任会で対策検討 ③ 他施設での取り組みについて情報集収集する ④ スライディングシート導入により負担軽減した	
継続	外国人労働者の雇用	外国人労働者の受け入れ	
継続	給与の引き上げ	診療報酬改定による財源を基として賃上げを実施する	
継続	スタッフリーダー登用	役職者以外で職場のリーダーとして後輩の指導・育成に貢献する等、職場に良い影響を与えている職員の登用と手当の支給	
継続	看護職員の適正配置	① 看護職員の積極的な募集・採用活動 ② ナースセンターと連携 ③ 浜松医療・介護人材コンシェルジュ(スリーマインズ)と連携 ③ 様式9による人員配置基準より余裕を持った配置数とする ④ 欠員時は他部署からの支援体制 ⑤ 遅番勤務体制の見直し	
継続	個々に配慮した勤務表作成	① 夜勤明けの翌日は原則休み ② 連続勤務5日までとする(40時間/週) ③ 早番/遅番勤務配置による繁忙時間帯の業務分担配慮 ④ 業務に必要な研修等は勤務扱い	
継続	多様な勤務形態採用	時短勤務、夜勤免除への対応	
継続	妊娠・子育て中の職員への配慮	① 妊婦検診等の通院休暇(無給)付与 ② 妊娠中の通勤緩和措置(時差出勤)、休憩時間の延長 ③ 時短勤務、育児休業延長の他、勤務形態について個別相談し柔軟に対応する ④ 子の看護休暇付与	
継続	メンタルサポート	① ストレスチェック ② ハラスメントに関する院内研修、相談窓口(外部)の案内	

項目		2026 年度取り組み内容	評価
継続	看護補助者の配置 (協働)	① 有資格者(介護福祉士)を積極的に採用 ② 夜間配置 ③ 「看護補助者活用のための管理者研修」に参加 ④ 短時間病棟看護補助者の採用(県の補助金利用)	
継続	病棟クラークの配置	① 事務作業(文書管理等) ② 面会、訪問者の対応	

(2)看護職員と他職種との業務分担

項目		2025 年度取り組み内容	評価
継続	外部業者へ委託	① 病院内清掃業務、リネン類の取り扱いについて委託 ② 入院セット化の導入検討	
継続	看護部・事務部	① 勤怠管理システム導入検討	
継続	薬剤科	① 適正な薬剤使用について、指導と管理を行う ② 持参薬・内服の管理、予定注射の準備	
継続	放射線科	① 病棟内で可能な検査は病棟で実施 ② 患者の搬送	
継続	検査科	① 病棟内で可能な検査は病棟で実施 ② 臨床検査技師による採血(日勤帯)	
継続	栄養科	① 栄養治療実施計画の作成 ② 食事形態、付加食の相談業務	
継続	リハビリ科	① 患者の搬送	
継続	地域連携室	① 紹介入院、転院調整(家族への説明・手続き) ② MSW と協働で入退院支援	
継続	医事課	① 病棟クラークと協働で事務作業(文書管理等) ② コストなどのカルテとの整合性確認、管理	